

平成29年度第4回花巻市行政評価委員会（しごと部会）会議録

1 開催日時

平成29年7月25日（火） 午前10時～11時30分

2 開催場所

花巻市役所新館2階会議室

3 出席者

(1) 委員 5名

影山部会長、佐藤委員、小山田委員、戸来委員、高橋委員（※箱崎委員は欠席）

(2) 説明者（施策主管課） 1名

古川商工労政課長

(3) 事務局（施策及び事務事業評価担当課） 2名

秘書政策課：企画調整係瀬川上席主任

財政課：経営財務係菅原上席主任

4 議題

市が実施した施策評価のうち、花巻市行政評価委員会の評価対象施策である「特産品の開発」について評価を行った。

(1) 施策主管課による説明、質疑応答

(2) 委員会の評価結果集約

5 議事録

(1) 施策主管課による説明、質疑応答【主な意見・質疑等】

佐藤委員：ひえカレーは特産品になっているのか。

小山田委員：市内でひえカレーを使った麺類、お菓子などで流通している。

佐藤委員：若い人たちは、ひえがわかるのか？

小山田委員：ひえカレーは小麦を使わないので、小麦アレルギーのある方でもカレーが食べられる。

古川課長：とろみを出すための小麦の代わりにひえが入っているが、一般の方はそれがわからないかもしれない。

戸来委員：雑穀は、高齢者はなつかしくて興味を持つ方もいるが若い人の関心が少ないように感じる。アレルギー面をPRしながら全国的にお客様を取り込むと特産品になるのではないか。

小山田委員：ひえの作付面積が日本一であることを全面に押し出して取り組まれている。

佐藤委員：ひえの効能をPRすることを考えないと、せっかくの特産品が生きてこない。

高橋委員：地域を代表する特産品開発が停滞している状況にあると書いてあるが、花巻の特産品は何なのか。原料の特産品がないと6次産業化もできない。どう考えているのか。

古川課長：花巻レベルでの特産品なのか、岩手県レベルなのか。

高橋委員：グローバルな捉え方ではなく、花巻市の中で自分たちが自信を持って生産して食べたり、加工品に使えたりする商品は何なのかがはっきりしているかどうか。農家のみなさん、商工業のみなさんが一生懸命働いて、食べていけるような方向を目指すという花巻市の政策とマッチしているのか。

佐藤委員：特産品は食べるものに特化しているのか。工芸もあるが。

戸来委員：地元で自分たちが消費するものと、全国的に名前が売れるものとを並行してねらって欲しい。前沢牛や山形のさくらんぼ、田子のにんにくのように全国ブランドになれば理想的だろうが、地元の人ができるだけ地元のものを消費するのも特産品になるのではないか。「花巻定食」として豚、雑穀、漬物などをセットにしたものを花巻に来れば食べることができるというようなことをやってもいいのではないか。

高橋委員：ひえカレーは一生懸命頑張って開発したようだが、浸透していないようだ。この施策の成果が出れば花巻市はもっと良くなるのではないか。

戸来委員：花巻市の特産品をインターネットで検索してみたところ、どこにでもあるものが多い。花巻ブランドが出てくればいいが。

小山田委員：せっかく補助金が用意されているので、地場のものを活用して目標値を目指して取り組んでいければいいと思う。

戸来委員：農商工連携事業補助金ということで、「観」が抜けている。朝ごはんプロジェクトのように「観」まで巻き込んだプロジェクトがあればいいのではないか。朝ごはんプロジェクトは好評のようだが。

古川課長：南温泉峡の若手を中心に、企業化支援センターのコーディネーターが企画して取り組んでいて、観光も取り込んだものになっている。補助金は別のところから出ている。

全国で色々な取組があるので、生みの苦しみがある。元々あるものをもう少し磨いていけばというものもあるのではないかと感じている。

高橋委員：特産品を開発して全国へ普及するのはいいと思うが、一般市民が気軽に食べられるものもないと広がらないのではないか。高価なものだけを補助対象とするのではなく。

戸来委員：乾杯でこのワインを使うとか、活用してもらうことで補助を出すということで4つの連携がつながるのではないか。

古川課長：地元の方に評価してもらわないと、口コミでも広がらない。地元の方が食べる機会をつくらなければならぬと思っているが、生産者に生産拡大の提

案をしても、目が行き届かなくなってブランドを下げるようなことはしたくないという考えのところもある。

小山田委員：ワインシードル特区は花巻市内全体か？

古川課長：全体である。

戸来委員：わんこそばは盛岡市が有名になってしまった。花巻市のイメージにつながる特産品が出てくれば良いと感じている。若い人が「〇〇を食べに花巻市へ行く」というような特産品が出てくれば、生産者も意欲が出てくるのではないか。

佐藤委員：ナポリかつ専門の店を出すというような話もあるようだが。ひえカレーよりナポリかつでは？

戸来委員：集客力は、若い人たちにはナポリかつの方が高いのではないか。ひえカレーはアレルギー等をメインにPRすれば良いのではないか。

佐藤委員：雑穀の良さをPRして欲しい。

小山田委員：成果指標の実績について、補助事業者の内訳は農、工、商、観のどこが多いのか？

古川課長：農業者の方が多い。

小山田委員：関係課が定住推進課となっているが、農政課とどのように住み分けているのか。

古川課長：定住推進課は平成29年度からできた組織。農商工連携補助金の予算は定住推進課が持っているがこれまでどおり商工労政課、農政課も関わっている。

高橋委員：連携している課で問題・課題を協議する場を設けているのか？

古川課長：定期的には実施していない。事業所から相談を受けてスタートするため、年度によって取組内容に波があったのかもしれない。そういう仕事の仕方を変えるために、特化して取り組むセクションをつくった。

戸来委員：工の関係の特産品といえば何になるのか。

古川課長：水沢の鋳物などは伝統工芸のくくりになると思う。花巻市はかつて農業が主体だったので、地域でこれが特産物だというのはなかったのではないか。

影山部会長：新たに取り組むべき事業はないのかというところで、ターゲットとすべき農畜産物の絞り込みが必要だという課題を掲げているが、米はターゲットにならないのか？米の加工や米粉、酒の販路拡大など。また、東和の花きはどうか。今後の絞り込みの案があるのであれば伺いたい。

古川課長：平均以上に認知されて出荷量もあるものとして、岩手県が認定した県内の地域資源は、ぶどう、ほろほろ鳥、黒ぶどう牛などなどがあり、これらは候補になる。何に特化するのははまだこれからだが、ぶどう、りんごは可能性があると考えている。また、シャインマスカットが注目されているが、生産拡大しようにも苗木がない状況。生食以外に加工しにくく、収穫時期が限られているためハードルは高いが、農政課で市内の菓子店と連携して食べ比べ

などの取組を行っていて、将来的には可能性はある。

影山部会長：特産品化したときに、安定的に供給するのが課題。

高橋委員：特産品が高価な物のせいか、花巻市民が普通に食べたり飲んだりする状況にはなっていない。市民が楽しめるのもっと豊かに発展するのではないか。

古川課長：まつりの特産品フェアや産業大博覧会で市民の方向けに周知、PRしたい。

高橋委員：観光客や贈り物向けではなく普通のパッケージを考えたりしてやれば良いと思う。

戸来委員：高価な物を都会で売るのであれば流通に乗せる工夫が必要だが、地元をターゲットにした特産品であれば自力でも売れる。販売の形態が違ふと感じる。

高橋委員：高価な物はデパートで特設コーナーをつくると、すごく売れるとのこと。

小山田委員：門外不出のワインが花巻市でしか飲めない、飲みたければきてくださいというのがあるのもいいと思う。

古川課長：そういう売り方をしている商品もある。

影山部会長：施策評価シートの成果指標の達成状況がDとなっているが、厳しいのではないか。

事務局：記載要領上のルールでCが1つでもあるとDになってしまう。同じように厳しすぎるという意見もある。内部ルールになるので、来年度以降検討する。

影山部会長：CSA（コミュニティサポーターズアグリカルチャー）型農業の方向は良いと思う。地元の人が日々接することができる。産直が後継者不足で厳しくなってきた。CSA型農業と産直を組み合わせるなど新しい事例として注目できるのではないか。

古川課長：地域の方が農作業を手伝うなどサポートしていて地産地消になっている。生産者と消費者の信頼関係もできて良いスタイルである。

小山田委員：これから新規にワインを製造したいというとき、申請等のサポートをするのはどこになるのか。

古川課長：定住推進課で行う。

(2) 委員会の評価結果集約【施策評価検証シート】

◇①施策を構成する事務事業の評価・検証について

→ 直結度の評価は的確である。

事務事業の成果はCだが、今後期待できる。

事業者への補助が主なのか、地域の活性化が主なのかわかりにくい。

特産品の開発の土台になる農畜産物が明確になると、開発が進むのではないか。

産業大博覧会をもっと有効に利用すべき。

隠れた郷土の特産品を再発見することも必要なのではないか。

◇②施策の成果指標及び達成状況の分析について

→ 的確に行われている。

◇③施策の総合的な評価について

→ 評価がDとなっているが、内部評価の基準が厳しいため、再検討をした方が良いのではないか。

「観」との連携についても、明記すべきである。

特産品のベースとなる農畜産業の状況について、把握していることを明記した方が良いのではないか。

制度のPRを課題に含めた方が良いのではないか。

◇④シート記載内容について

→ 特になし。